

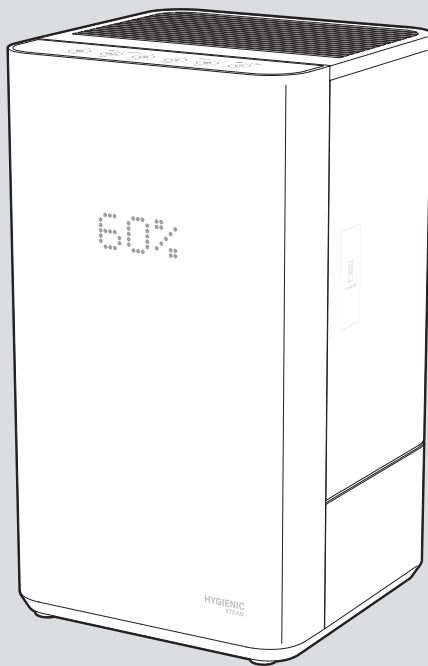
# THREEUP

## 上部給水式 スチーム加湿器

## HYGIENIC (ハイジエニック)

### ST-T2139

# 取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

## 目次

### はじめに

安全上のご注意	1~3
各部のなまえ	4~5
パッケージ内容	5
別売品	5
仕様	5

### ご使用の前に

知っておいていただきたいこと	6
設置について	6
フェルトを取り付ける	7
リモコンについて	7
水タンクに水を入れる	8

### ご使用方法

運転する	9
停止する	10
パワフル運転する	10
運転モードを切り替える	11
湿度を設定する	12
オフタイマーを設定する	13
水タンクの水がなくなると	14
洗浄モードを使う	14

### 点検・修理

お手入れと保管方法	15~17
コンセントの点検	17
故障かな?と思ったら	18
保証・サービス	裏表紙

# はじめに

## 安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。  
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 <b>注意</b>	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

	この図記号は「禁止」されている内容です。		この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

## 警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。  
火災、感電、故障、ケガの原因になります。  
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気が多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。  
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。  
感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様だけで使わせしないでください。  
感電やケガ、事故の原因になります。  
屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。  
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。  
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。  
本体の変形によるショート、発火の原因になります。

吹出口から給水しないでください。  
故障や感電、水漏れの原因になります。



禁止

吹出口や通気口、すき間にピンや針金などの異物を入れたり、ふさいだりしないでください。

- ・ケガや事故の原因になります。
- ・過熱による本体の変形、発火の原因になります。

スチームを故意に吸入しないでください。  
健康を害する原因になります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。  
また、本体に向けて吹きかけないでください。

爆発や火災の原因になります。

マグネットプラグにクリップなどの金属を付着させないでください。

感電、故障の原因になります。

乳幼児の手の届くところにボタン電池を置かないでください。

ボタン電池を誤飲する原因になります。  
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。



必ず守る

電源は必ず家庭用100V電源で使用してください。

異なる電圧での使用は故障、火災の原因になります。

電源プラグ、マグネットプラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

## 警告

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

電源コード、電源プラグ、マグネットプラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだりしないでください。
- 損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグとマグネットプラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- マグネットプラグはプラグ受けに確実に取り付けてください。
- マグネットプラグを取り外すときは、コードを引っ張らず、マグネットプラグを持って取り外してください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。
- 高温になる場所(屋外、直射日光の当たる場所、ストーブやガスコンロの近くなど)に保管しないでください。



必ず守る

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



接触禁止

運転中または運転停止直後は、スチーム及び吹出口の周囲や、ヒーター部周囲及び水は高温になっていますので触らないでください。

やけどの原因になります。

## 注意



禁止

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。



禁止

家具や壁、カーテンにスチームが直接当たる場所には設置しないでください。

シミや汚れの原因になります。

## 注意

テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

結露による故障や雑音が入る原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

水平で安定している場所に設置してください。斜面など不安定な場所に設置すると、転倒により水が漏れて周囲を濡らす原因になります。

また、高所から落下すると、ケガや破損の原因になります。

踏み台にしたり、腰掛けたり、もたれかかったりしないでください。

また、製品の上に物を置かないでください。転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

水タンクと本体(水そう部)の水が凍結するような場所では使用しないでください。故障の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

湿度の高い場所(75%以上)では使用しないでください。

家具や壁を湿らせ、雑菌やカビが繁殖し異臭や故障の原因になります。

運転中は移動させたり、傾けたりしないでください。

水漏れや故障の原因になります。移動する際は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

常温の水道水以外は使用しないでください。

- 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- 40℃以上のお湯や化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

吹出口と通気口をふさがないでください。過熱による本体の変形、故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

長時間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体(水そう部)に残った水を捨ててください。

- 水タンクと本体(水そう部)に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- 水タンクと本体(水そう部)に水が入ったまま保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。



禁止



禁止



必ず守る

# 各部のなまえ

## ■ 本体

### 操作部

オフタイマーランプ  
洗淨ランプ  
連続ランプ  
パワフルランプ

パワフルボタン

加湿ボタン

オフタイマーボタン

連続 洗淨(長押し)



パワフル



加湿



タイマー



湿度設定



モード



電源

湿度設定ランプ

おまかせランプ

エコランプ

電源ランプ

給水ランプ

おまかせ エコ 電源 給水

電源ボタン

運転モードボタン

湿度設定ボタン

### 正面

吹出口

ダクトカバー

ダクト

ディスプレイ

リモコン  
受信部

水位感知  
センサー

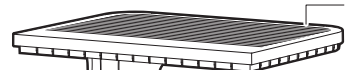
本体  
(水そう部)

ヒーター部

満水感知  
センサー

リモコン  
取付部\*

フロート



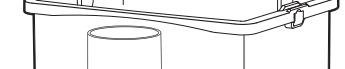
吹出口  
カバー



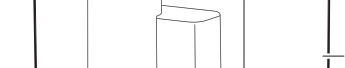
取っ手



水タンク



給水弁  
カバー



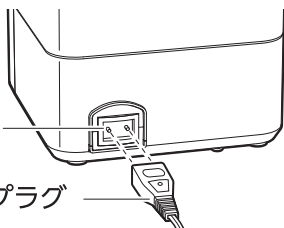
給水弁

\*「リモコン貼付け位置」のイラスト部にリモコンを取り付けることができます。

### 背面

プラグ受け

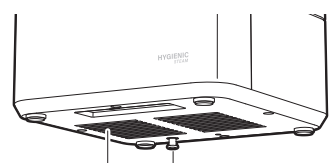
マグネットプラグ



### 底面

通気口

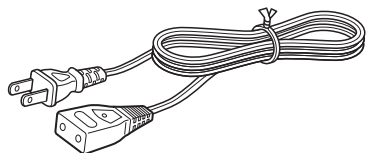
転倒時自動オフ  
スイッチ



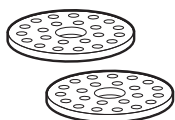
# はじめに

## ■ 付属品

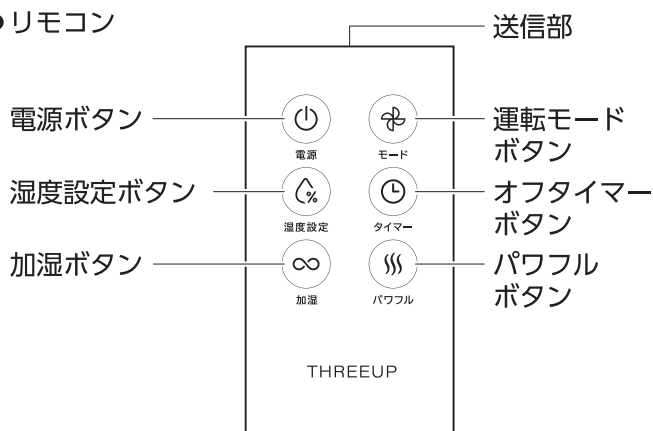
- マグネット式電源コード



- フェルト



- リモコン



## パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不用品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
マグネット式電源コード	1	フェルト	2
リモコン（CR2032電池内蔵）	1	—	—

## 別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	商品単価（税込）
フェルト	3	550 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。

## 仕様

本体サイズ	幅23.5×奥行24×高さ41.5cm	本体重量	約3.9 kg
材質	ABS、PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	パワフル500W/連続250W	タンク容量	5.5 L
運転モード	連続運転、おまかせ運転、エコ運転、洗浄モード、パワフル運転		
加湿量	600 ml/h（パワフル）、310 ml/h（連続）	連続運転時間	パワフル：約8時間、加湿：約15時間
オフタイマー設定	1～8時間（1時間単位）	加湿方式	スチーム
適用床面積（目安）	17畳（洋室、プレハブ）、10畳（和室、木造）		
安全装置	空焚き防止装置、温度ヒューズ、転倒時自動オフスイッチ、水位感知センサー、満水感知センサー		
コード長	約1.5 m		

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 加湿量や適用床面積（目安）は、使用環境により異なります。

# ご使用の前に

## 知っておいていただきたいこと

### ■ 加湿について

本体のヒーター部で水を沸騰させて発生したスチームで加湿します。  
スチーム及び吹出口の周囲や、ヒーター部周囲及び水は高温になっていますので、触らないでください。

### ■ センサーについて

周囲温度と周囲湿度は、本体に内蔵されているセンサーが感知する温度と湿度になります。

### ■ 水漏れについて

床に本体や水タンクを落下させた場合に亀裂が入り、水漏れを起こす場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

### ■ フェルトについて

スケールや水あかの汚れを吸着し、ヒーター部の汚れを低減します。

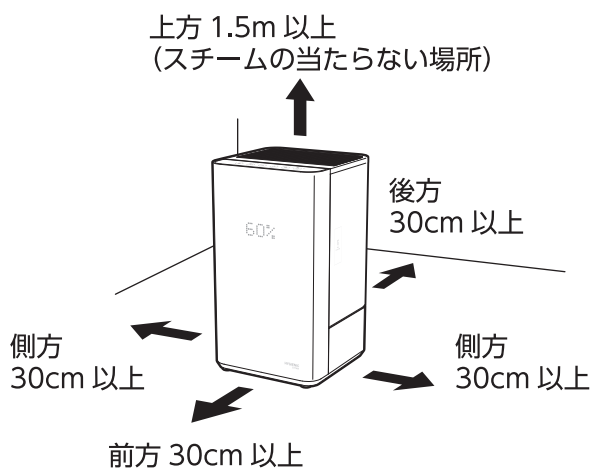
#### ヒーター部周囲の汚れ (スケール、水あか) について

水道水を加熱して蒸気を発生させるときにスケール (蒸発残留物：カルシウムなど) や水あかが発生します。汚れは使用に伴い固着していきます。放置すると加湿機能の低下や故障の原因になりますので、必ず定期的にお手入れをしてください。

## 設置について

### ■ 設置場所

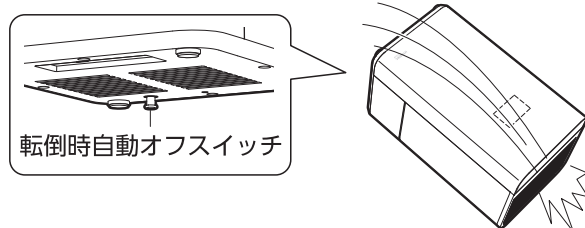
- 製品の周囲は右図で示した距離を空けてください。
- 斜面や毛足の長い敷物の上など、不安定な場所には設置しないでください。



### ■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたり、浮いたりした時に自動で運転を停止します。

転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。  
引き続きご使用の場合は、水平な床面にもう一度設置して『電源』ボタンを押してください。



### ■ 安全装置

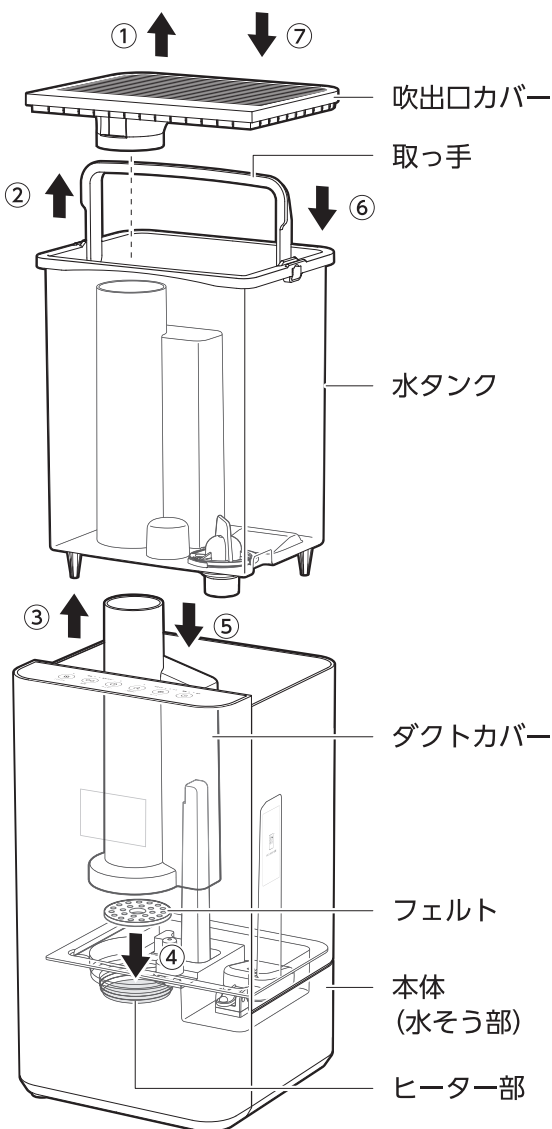
温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動し、自動的に運転が停止します。  
少し時間をおいて温度が下がれば、運転を再開できます。

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。  
その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

# ご使用の前に

## フェルトを取り付ける

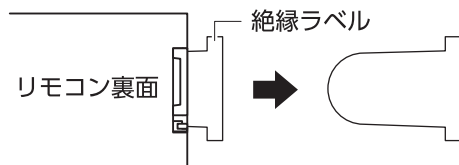
- ① 吹出口カバーを取り外します。
- ② 本体 (水そう部) から水タンクを取り外します。  
取っ手を持って取り外してください。
- ③ ダクトカバーを取り外します。
- ④ フェルトを1枚取り付けます。  
ヒーター部の上に置いてください。
- ⑤ ダクトカバーを取り付けます。
- ⑥ 水タンクを本体 (水そう部) に取り付けます。
- ⑦ 吹出口カバーを取り付けます。



## リモコンについて

工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

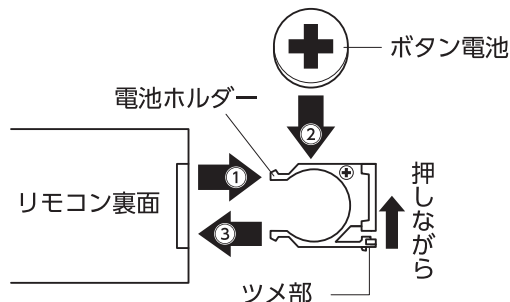
※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。



## ■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2032」です。

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がするまではめ込みます。

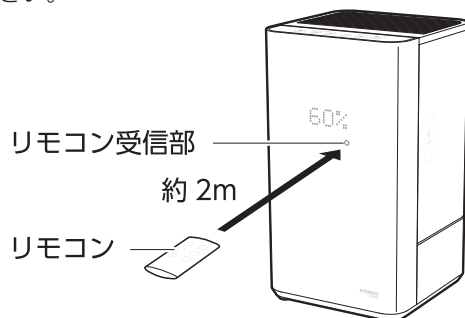


## ■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約2mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。

そのような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。





# 水タンクに水を入れる

## ⚠ 注意



必ず守る

- 必ず水道水を入れてください。  
一般に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。
- 水タンクと本体（水そう部）の水は毎日新しい水道水と入れ換え、常に清潔に保ち、定期的にお手入れしてください。  
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。  
体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。



禁止

以下のような水是水タンクと本体（水そう部）に入れないでください。

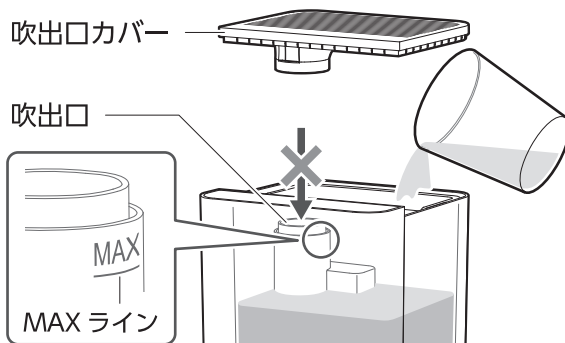
- ・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- ・40℃以上のお湯や化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

吹出口カバーを取り外して水タンクに常温の水道水を入れます。

コップなどに水を入れ、水タンクに注ぎ入れてください。

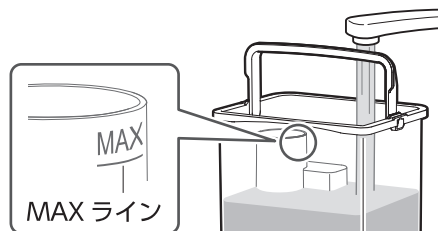
### 注意

- ・MAXラインを超えて水を入れしないでください。
- ・水タンクにアロマオイルまたはエッセンシャルオイルを入れしないでください。
- ・吹出口に水を入れしないでください。  
水漏れや故障の原因になります。



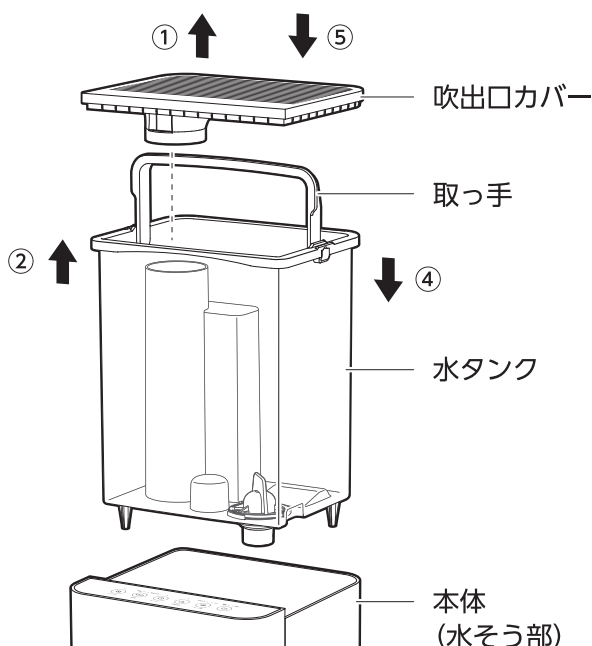
### 蛇口から水を入れる場合

- ① 吹出口カバーを取り外します。
- ② 本体（水そう部）から水タンクを取り外します。  
取っ手を持って取り外してください。
- ③ 水タンクに常温の水道水を入れます。  
洗面所やお風呂場などで給水してください。



### 注意

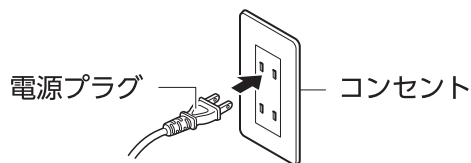
- ・MAXラインを超えて水を入れしないでください。
  - ・水タンクにアロマオイルまたはエッセンシャルオイルを入れしないでください。
- ④ 水タンクを本体（水そう部）に取り付けます。
  - ⑤ 吹出口カバーを取り付けます。



# ご使用方法

## 運転する

- ① 本体のプラグ受けにマグネットプラグをまっすぐ取り付けます。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。“ピッピッ”と電子音が鳴ります。



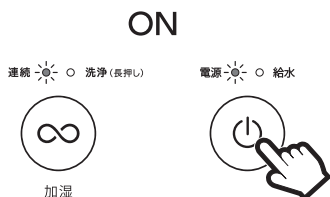
- ③ 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押すと加湿運転を開始します。同時に『電源』ランプと『連続』ランプが点灯し、ディスプレイに周囲の湿度が表示され、約3～5分後に吹出口から高温のスチームが出始めます。

ランプ表示

消灯：○ 点灯：☀

リモコン

ディスプレイ表示



周囲湿度を表示

### メモ

- 本体とリモコンのボタン操作時は、“ピッ”と電子音が鳴ります。
- スチームが出始めるまでの所要時間は使用環境や水温により異なります。
- スチームは部屋の温度や湿度によって見えにくい場合があります。
- 運転中は本体の周辺が少し温かくなりますが、異常や故障ではありません。

### ディスプレイの表示について

- 周囲湿度は本体に内蔵されているセンサーが感知する湿度になります。
- 周囲湿度が30%以下の場合 ⇨ 「Lo%」と表示します。
- 周囲湿度が80%以上の場合 ⇨ 「Hi%」と表示します。
- 湿度設定時とオフタイマー設定時は、設定湿度と設定時間をあわせて表示します。  
詳細は「湿度を設定する」、「オフタイマーを使う」の項目をご確認ください。

### 減灯機能について

ディスプレイ表示は、操作しない状態が1分間続くと減灯します。

## 停止する

運転中に本体またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、“ピーツ”と電子音が鳴って運転を停止します。同時に全てのランプが消灯し、ディスプレイに「OFF」と表示されたあとに消灯します。

運転停止後は内部冷却のため、約5分間送風運転を行います。  
※余熱と送風により、しばらくスチームが出る場合があります。

### メモリー機能について

- 一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。  
(オフタイマー設定と洗浄モードは除く)
- 電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

## ⚠ 注意



- 長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、水タンクと本体(水そう部)の水を捨ててください。
- 電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押し、《送風運転の停止》を確認してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

## パワフル運転する

高いヒーター電力で加湿量を増やします。


運転中に本体またはリモコンの『パワフル』ボタンを押します。

『パワフル』ランプが点灯し、パワフル運転を開始します。

ディスプレイは周囲の湿度を表示します。

パワフル運転を解除する場合は、『オフタイマー』以外のボタンを押してください。

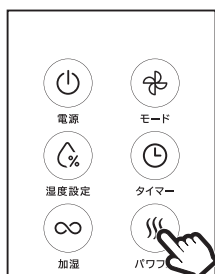
ランプ表示

点灯 

リモコン

ディスプレイ表示

ON



### メモ

パワフル運転中はポコポコと音が鳴りますが、異常ではありません。

# ご使用方法

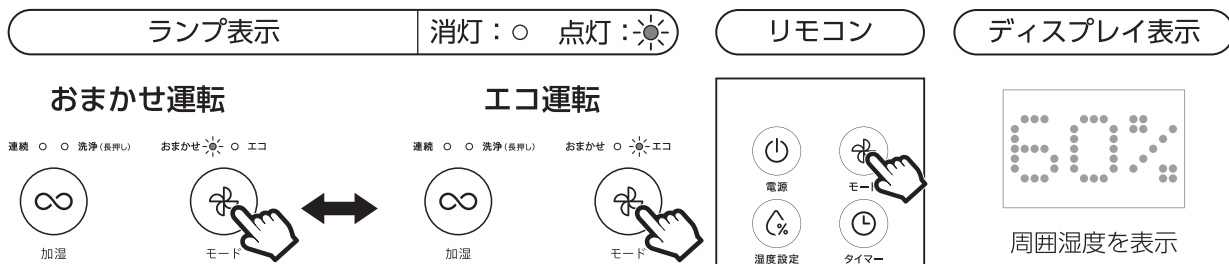
## 運転モードを切り替える

運転中に本体またはリモコンの『運転モード』ボタンを押すと、運転モードが切り替わります。  
『連続』ランプが消灯し、運転モードに応じたランプが点灯します。  
ディスプレイは周囲の湿度を表示します。

おまかせ運転/エコ運転モードを解除する場合は、『オフタイマー』ボタン以外の運転ボタンを押してください。  
『おまかせ』ランプまたは『エコ』ランプが消灯して、運転が切り替わります。

### メモ

パワフル運転と同時に使用できません。



### おまかせ運転モード

製品の周囲温度に応じて、自動で湿度設定を切り替えます。(湿度設定はできません。)

自動で選択された設定湿度より周囲湿度が高い場合は、自動で運転を停止し、低い場合は運転を開始します。

#### ●周囲温度と設定湿度の関係

設定湿度 \ 周囲温度	19℃以下	20～22℃	23～24℃	25℃以上
50%				○
55%			○	
60%		○		
65%	○			

(例) 製品の検知温度が20～22℃の時、湿度が60%以上になると停止します。

### エコ運転モード

製品の周囲湿度に応じて、自動で運転の停止と開始を行います。

- 周囲湿度が50%以上になると… ⇨ 自動で運転停止
- 周囲湿度が45%以下になると… ⇨ 自動で運転開始

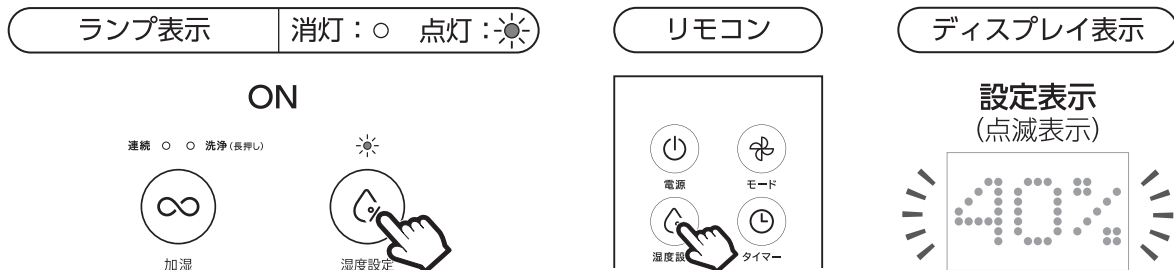
### メモ (おまかせ運転/エコ運転モード共通)

- 周囲温度が低い場合は、湿度が高く設定されているため、湿度が上がりすぎて結露する場合があります。
- 周囲温度と周囲湿度は、本体に内蔵されているセンサーが感知する温度と湿度になります。
- 設定湿度に達しても、製品の周囲湿度を測定しているため、ファンは止まりません。

# 湿度を設定する

40%～70%の範囲(5%単位)でお好みの湿度に設定できます。  
設定された湿度に達すると自動で運転を停止し、周囲湿度が下がると運転を再開します。

- ① 運転中に本体またはリモコンの『湿度設定』ボタンを押します。  
『連続』ランプが消灯し、『湿度設定』ランプが点灯します。  
同時にディスプレイが設定表示に切り替わり、「40%」と点滅表示します。

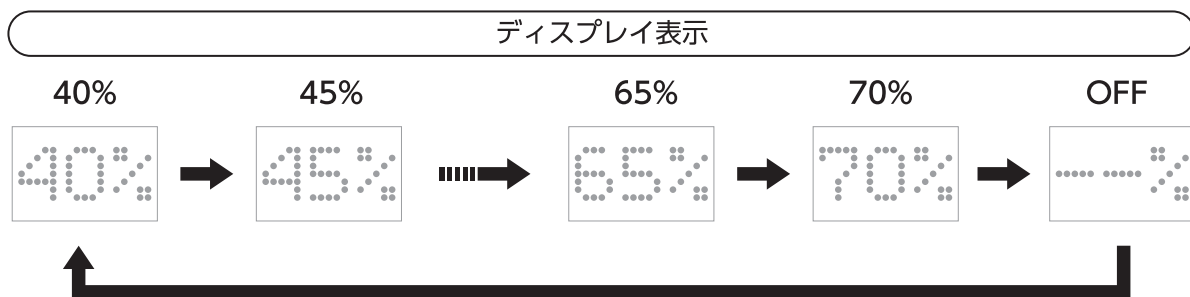


- ② ディスプレイの点滅表示中に『湿度設定』ボタンを押して湿度を設定します。  
『湿度設定』ボタンを押すたびに5%単位で湿度表示が切り替わります。

湿度設定を解除する場合は、次のどちらかの操作をしてください。

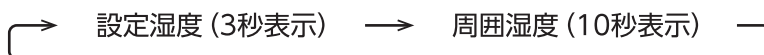
『湿度設定』ランプが消灯して運転が切り替わります。

- ディスプレイの表示が「— %」になるまで『湿度設定』ボタンを押す。
- 『オフタイマー』以外の運転ボタンを押す。

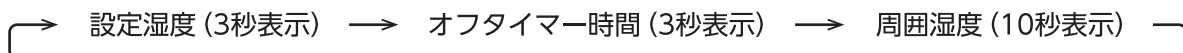


## ディスプレイの表示について

- 運転中はディスプレイに設定した湿度と周囲湿度を繰り返し表示しながら運転します。



- 同時にオフタイマーを設定した場合は、次のように表示します。



## メモ

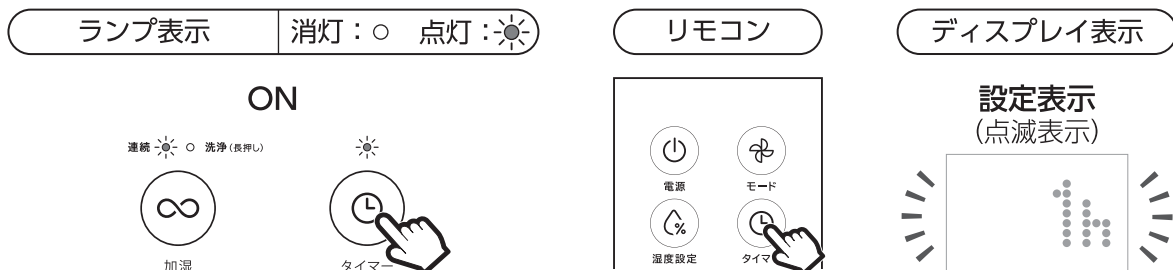
- 設定湿度に達しても、製品の周囲湿度を測定しているため、ファンは止まりません。
- パワフル運転と同時に使用できません。

# ご使用方法

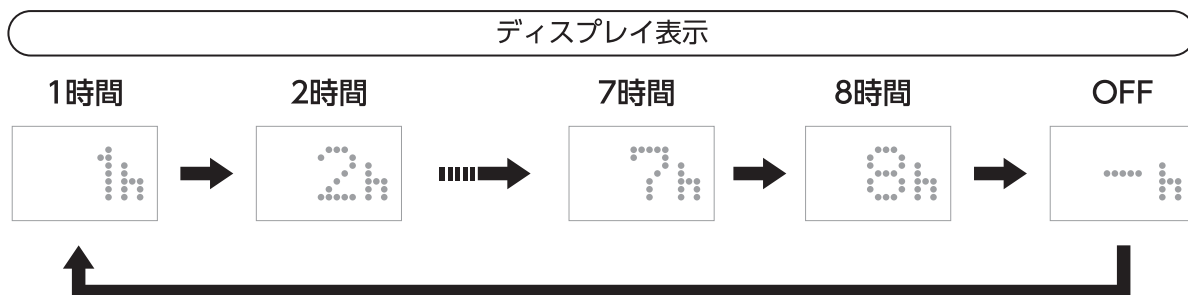
## オフタイマーを設定する

1～8時間（1時間単位）の範囲で設定した時間が経過すると自動で運転を停止します。

- ① 運転中に本体またはリモコンの『オフタイマー』ボタンを押すと、『オフタイマー』ランプが点灯します。同時にディスプレイが設定表示に切り替わり、「1h」と点滅表示します。

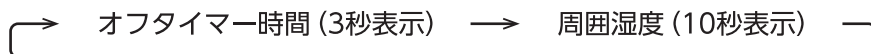


- ② ディ스플레이の点滅表示中に『オフタイマー』ボタンを押して時間を設定します。『オフタイマー』ボタンを押すたびに1時間単位で時間表示が切り替わります。
- ディ스플레이の点滅表示中に他のボタンを押した場合は、表示されていた時間で設定されます。
  - オフタイマーを解除する場合は、ディスプレイの表示が「-h」になるまで『オフタイマー』ボタンを押してください。
- 『オフタイマー』ランプが消灯します。



### ディスプレイの表示について

- 運転中はディスプレイに設定したオフタイマー時間と周囲湿度を繰り返し表示しながら運転します。



- 同時に湿度設定をした場合は、次のように表示します。



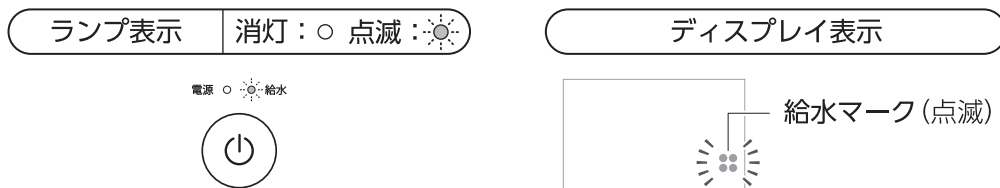
### メモ

- 1時間経過するごとに残り時間が切り替わって表示されます
- 運転停止後は内部冷却のため、約5分間送風運転を行います。

# 水タンクの水がなくなると

水タンクの水がなくなると、“ピーツ”と電子音が5回鳴って、『給水』ランプとディスプレイの給水マークが点滅表示し、自動で運転を停止します。

運転停止後は内部冷却のため、約5分間送風運転を行います。



続けて使用する場合は、水タンクに新しい水道水を入れてください。

- 『給水』ランプと給水マークの点滅後10分以内に給水すると、『給水』ランプと給水マークが消灯して停止前の運転モードで運転を再開します。
- 『給水』ランプと給水マークの点滅後10分を過ぎた場合は、水タンクに給水するまで点滅し続けます。給水すると『給水』ランプと給水マークの点滅は消灯します。引き続きご使用の場合は『電源』ボタンを押してください。

# 洗浄モードを使う

クエン酸 (別売) を使用してヒーター部の汚れを落とします。

① ヒーター部にクエン酸 5gを置きます。(小さじ1杯程度)

## 注意

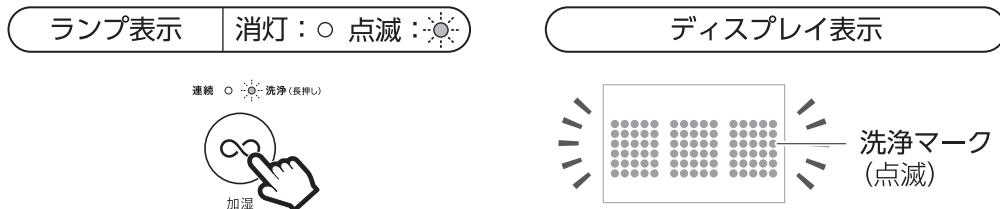
- クエン酸は必ず5g以下にしてください。④の洗浄モードが途中で停止するおそれがあります。
- クエン酸は付属しておりません。市販品をお買い求めください。
- ヒーター部にフェルトを取り付けしないでください。

② ダクトカバーと水タンクを取り付けて水タンクに水を半分入れ、吹出口カバーを取り付けます。

③ 電源プラグをコンセントに差し込み、本体またはリモコンの『電源』ボタンを押します。

④ 本体の『洗浄』ボタンを3秒間長押しして洗浄モードを開始します。

洗浄モード中は『洗浄』ランプとディスプレイの表示が点滅します。



## 注意

洗浄モード中は『電源』ボタン以外のボタン操作ができません。

## メモ

- リモコンからは洗浄モードを開始できません。
- 洗浄中に水がなくなった場合は、『洗浄』ランプが点滅したままディスプレイに給水マークが点滅で表示し、操作部の『給水』ランプも点滅します。

⑤ 1時間30分後に自動で洗浄モードを停止します。

洗浄モードの停止後は、『洗浄』ランプとディスプレイの表示が点灯に切り替わります。

⑥ 電源プラグをコンセントから抜きます。

⑦ 水タンクと本体 (水そう部) に残った水を捨てて、ヒーター部周囲を柔らかい布で拭きます。

## 注意

必ず水を捨ててからお手入れをしてください。  
水は熱湯になっているため、十分に冷ましてから水を捨ててください。

## お手入れと保管方法

### 警告



必ず守る

- お手入れや点検、保管の際は、必ず電源プラグをコンセントから、マグネットプラグをプラグ受けから抜いてください。また、プラグ受けに水がかからないように注意してください。感電やケガの原因になります。
- お手入れや点検、保管の際は、本体が十分に冷めてから行ってください。やけどの原因になります。

### 注意



必ず守る

- 長期間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体（水そう部）に残った水を捨ててください。
- ・水タンクと本体（水そう部）に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
  - ・水タンクと本体（水そう部）に水が入ったまま保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

各部のお手入れは週に2回以上行ってください。

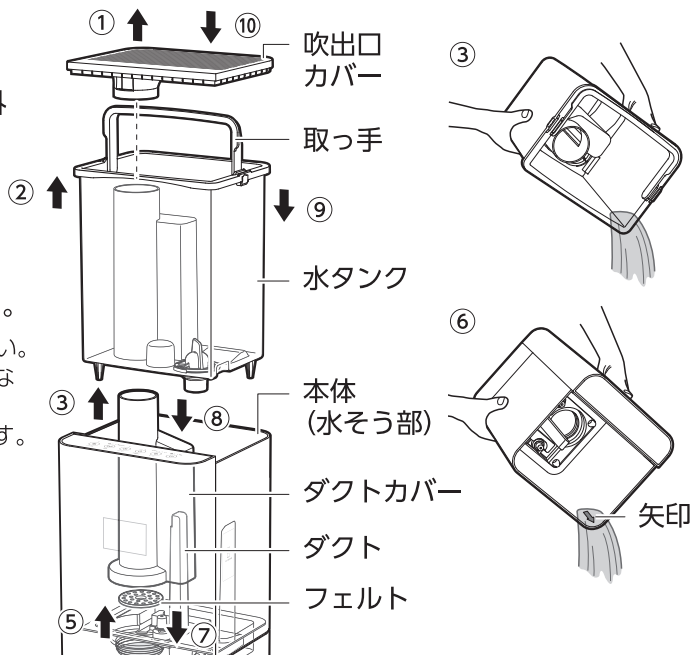
#### ■ 水の捨てかた

- ① 吹出口カバーを取り外します。
- ② 本体（水そう部）から水タンクを取り外します。  
取っ手を持って取り外してください。
- ③ 水タンクに残った水を捨てます。
- ④ ダクトカバーを取り外します。
- ⑤ フェルトを取り外します。
- ⑥ 本体（水そう部）に残った水を捨てます。

#### 注意

- ・矢印の方向に水を捨ててください。
- ・ダクトから本体内に水が入らないようにご注意ください。  
水漏れや故障の原因になります。

- ⑦ フェルトを取り付けます。
- ⑧ ダクトカバーを取り付けます。
- ⑨ 水タンクを本体（水そう部）に取り付けます。
- ⑩ 吹出口カバーを取り付けます。



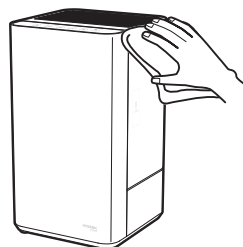
#### ■ 本体外側のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてお手入れしてください。

汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかい布で汚れを拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった柔らかい布で拭き取ってください。

仕上げに柔らかい布で乾拭きしてください。

- ・お手入れには塩素系・アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- ・お手入れのあとは、本体が乾いてからご使用ください。





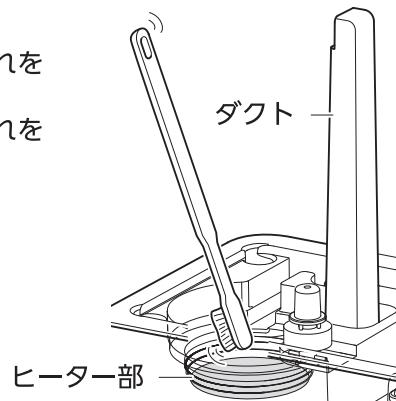
## ■ 本体内側のお手入れ

- ダクトカバーとフェルトを取り外し、本体外側と同様のお手入れをしてください。
- ヒーター部周囲は、歯ブラシなどの柔らかいものでこすって汚れを落としてください。  
※金属ブラシなどの硬いものでこすらないでください。

### 注意

ダクトから本体内に水が入らないようにご注意ください。  
水漏れや故障の原因になります。

- 汚れがひどい場合は、洗浄モードでお手入れしてください。  
詳細は「洗浄モードを使う」の項目をご確認ください。



## ■ 吹出口カバー、ダクトカバーのお手入れ ■ フェルトのお手入れ

本体外側と同様のお手入れをしてください。



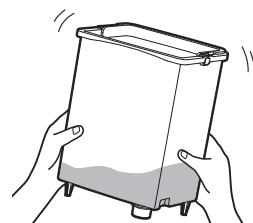
水洗いをしたあと、平らな場所で陰干しをして十分に乾かしてください。

フェルトは消耗品です。  
お手入れをしても汚れが  
落ちなくなった場合は、  
交換してください。



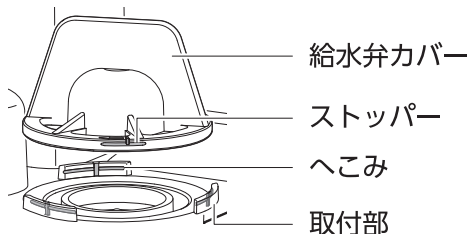
## ■ 水タンクのお手入れ

- 外側は本体外側の同様のお手入れをしてください。
- 内側は給水弁カバーを取り外し、水タンクに少量の水を入れて軽く振り洗いして水を捨てます。  
汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。  
洗剤が残らないよう、しっかりすすいでください。

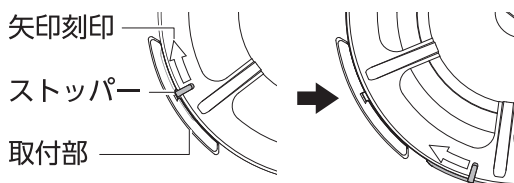


### 給水弁カバーのお手入れと取り付け/取り外しかた

#### ●各部のなまえ



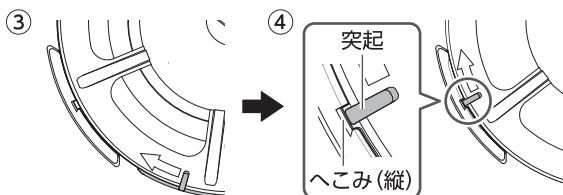
- ① 給水弁カバーを矢印刻印の反対方向に回します。ストッパーと取付部が重ならない位置まで回して、取り外してください。



- ② 給水弁カバーを水洗いします。



- ③ ストッパーが取付部の手前になる位置に給水弁カバーを置きます。
- ④ 給水弁カバーを矢印刻印の方向に回します。ストッパーを取付部のへこみに差し込み、突起がへこみ(縦)にはまるまで回してください。



## ■ 保管方法

- 水タンクと本体（水そう部）の水は必ず捨ててください。
- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。湿ったまま保管すると、カビの発生や異臭、故障の原因となります。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極（+/-）にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください。

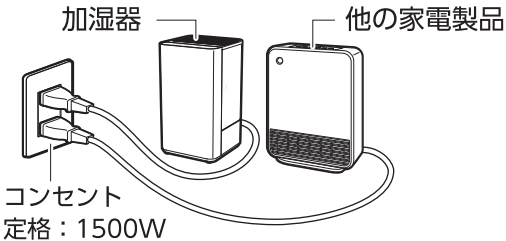
## コンセントの点検

### ● コンセントなどの配線器具には寿命があります。

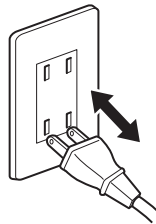
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

#### 誤った使いかたの例

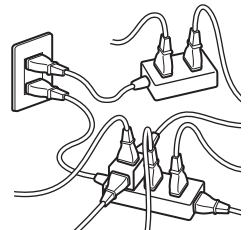
✕ 定格容量いっぱいを使用する



✕ 電源プラグを斜めに抜き差しする

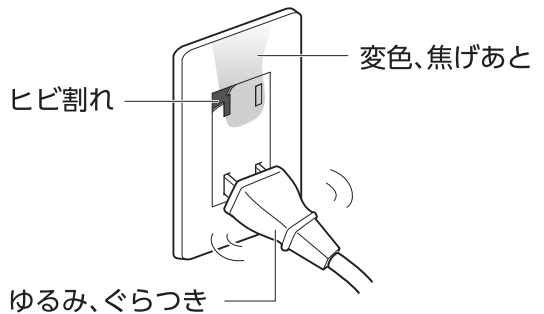


✕ タコ足配線する



### ● 下記のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- 電源プラグの抜き差しがゆるい。
  - 電源プラグやコンセントが熱い。
  - 表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
  - 表面が変色、焦げあとがある。
- そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。



## ⚠ 注意



禁止

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。焼損や火災、事故の原因となります。

# 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグまたはマグネットプラグがはずれているか、ななめになっている。</li> <li>安定した水平な場所に置かれていない。(転倒時自動オフスイッチが働いている)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグとマグネットプラグの接続を確認してください。</li> <li>安定した平らな床面でお使いください。</li> </ul>
スチームが出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転開始直後である。</li> <li>周囲湿度が設定湿度を超えている。(おまかせ運転、エコ運転、湿度設定運転)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒーター部内で水を沸騰させてスチームが発生するまで、約3～5分かかります。 ※使用環境により所要時間は異なります。</li> <li>運転モードを切り替えて運転してください。</li> </ul>
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> <li>水タンクの水がなくなった。</li> <li>オフタイマーが作動して停止した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水がなくなるとディスプレイに「給水」マークが表示されます。水タンクに給水してください。</li> <li>引き続きご使用の場合は、お好みの運転ボタンを押してください。</li> </ul>
異臭がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>水タンク、本体(水そう部)、ヒーター部が汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水タンク、本体(水そう部)、ヒーター部のお手入れをしたあと、新しい水道水を入れてください。</li> </ul>
湿度が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>適用床面積を超えた部屋で使用している。</li> <li>部屋の窓やドアが開いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適用床面積内でご使用ください。</li> <li>窓やドアを閉めてお使いください。</li> </ul>
本体の周囲に白い粉が付着する	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期間、同じ場所で使用している。またはお手入れをしないで使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>白い粉はお使いの水道水に含まれるミネラル成分です。(人体に影響はありません。) 「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。</li> </ul>
ヒーター部の周囲に汚れが付着する	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケールや水あかが付着している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。</li> </ul>
ボタン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗浄モードを使っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗浄モード中は『電源』ボタン以外のボタン操作ができません。運転を停止する場合は、『電源』ボタンを押してください。</li> </ul>
水タンクの水が温かい	<ul style="list-style-type: none"> <li>スチームによって水タンクの水が温まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異常や故障ではありません。お手入れをする際は冷めるまでお待ちください。</li> </ul>
運転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワフル運転している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異常や故障ではありません。『加湿』ボタンを押して連続運転に切り替えると、運転音は小さくなります。</li> </ul>
ディスプレイに「Er1」と表示された	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体(水そう部)の水が増え、満水感知センサーが作動した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体(水そう部)の水を捨ててから再運転してください。</li> </ul>
運転を停止してもスチームが出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部冷却のための送風運転中である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転停止後は内部冷却のため、約5分間送風運転を行います。余熱と送風により、しばらくスチームが出る場合があります。</li> </ul>

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。

## 長年ご使用の製品はよく点検を行ってください。

### ●このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグが破損した。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまで点検をご依頼ください。